

## 【6】学費等について

### 進学にかかる費用について

#### (1) 受験料

高校受験と同じく大学受験も1回受験するごとに受験料がかかります。たとえば、私立大学を3学科受験すると、受験料だけで10万円程度かかるということになります。

《平均的な受験料》 例. **令和5年度入試**

大学入学共通テスト（3教科以上）	18,000円
大学入学共通テスト（2教科以下）	12,000円
国公立大学（2次試験）	17,000～30,000円
私立大学（一般入試）	30,000～35,000円
私立大学（共通テスト利用入試）	15,000～20,000円
私立大学（総合型・学校推薦型）	30,000～35,000円

#### (2) 受験にかかる費用

受験にかかる費用は受験料だけではありません。交通費、宿泊費、雑費などのいろいろなお金が必要となってきます。移動等でお金の無駄が出ないように、受験日程などの調整が必要です。関東・関西の大学でも、地方受験（福岡で受験する）を実施しているところがありますので、きちんと調べておくことが大切です。

**一般的な例** 私立大学5校（うち1校は共通テスト利用、1校は遠方の私立大学、残りの3校は地元の私立大学）を受験する場合

願書代	1,000円 × 5校 =	5,000円	
共通テスト検定料	18,000円 × 1回 =	18,000円	
受験料	35,000円 × 4校（私大受験） + 15,000円（共通テスト利用） =	155,000円	
交通費（遠方に往復）	30,000円 × 1校 =	30,000円	
宿泊費	8,000円 × 1回 =	8,000円	合計 216,000円

#### (3) 入学時にかかる費用

合格イコール大学生ではなく、入学手続きを行い、初年度納付金を納入して初めて「大学生」になります。下表の学費は平均値です。学校・学部等によって異なりますので、本年度要項で必ず確認してください。また、入学手続きの期限は多くの場合、合格発表後の10日～2週間以内に設けられています。学費の支払い時期も学校によりさまざまです。費用のことだけでなく、納入のタイミングについても調べておく必要があります。

《初年度納付金のめやす》

文部科学省「学生納付金等調査結果（令和3年度）」

	授業料	入学金	施設設備費	合計
国立大学	535,800円	282,000円	—	817,800円
公立大学（地域外）	536,363円	391,305円	—	927,668円
（地域内）		228,613円		764,976円
私立大学（文系）	815,069円	225,651円	148,272円	1,188,991円
私立大学（理系）	1,136,074円	251,029円	179,159円	1,566,262円

## (4) 入学後にかかる費用

日本政策金融公庫の令和3年度実態調査によると、自宅外通学を始めるための費用（アパートの敷金や家財道具の購入費など）は、入学者1人当たり平均38.7万円で、入学費用と合わせると、入学者1人当たり平均120万円となっています。そして、自宅外通学者への仕送り額は、年間平均95.8万円（月額7.9万円）です。自宅外から通う場合、学生寮に住むのかアパートに住むのかによっても、必要金額は大きく変わってきます。

《入学時の費用（全国平均）》 全国大学生生活協同組合連合会「2023年度保護者に聞く新入生調査」より

	私立		国公立	
	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生
合格発表や入学手続きのための費用	13,200円	48,100円	12,300円	50,500円
入学式出席のための費用	11,900円	41,500円	11,400円	40,100円
パソコン・教科書・教材購入費用	200,200円	222,100円	238,100円	260,400円
住まい探しの費用	—	276,700円	—	228,000円
生活用品購入費用	80,900円	299,600円	92,300円	308,000円
その他の費用	107,700円	297,800円	136,000円	349,800円
<b>合計</b>	<b>313,800円</b>	<b>1,185,800円</b>	<b>284,630円</b>	<b>1,236,800円</b>

《大学生の1ヶ月の生活費（全国平均）》

	内 訳	自宅生	下宿生
収入	小遣い・仕送り	10,350円	60,120円
	奨学金	10,050円	19,660円
	アルバイト	43,010円	36,110円
	定職	540円	420円
	その他	2,010円	2,940円
	<b>収入合計</b>		<b>65,970円</b>
支出	食費	12,600円	25,880円
	住居費	510円	54,130円
	交通費	9,380円	4,330円
	教養娯楽費	12,770円	12,840円
	書籍費	1,300円	1,500円
	勉学費	900円	1,260円
	日常費	5,070円	7,330円
	電話代	1,460円	3,190円
	その他	1,930円	2,290円
	貯金・繰り越し	18,410円	14,740円
	<b>支出合計</b>		<b>64,340円</b>

全国大学生生活協同組合連合会「学生の消費生活に関する実態調査(2023年)」より

## (5) 日本学生支援機構の奨学金について

### 貸与奨学金

奨学金制度の中では最も利用者が多い奨学金です。第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（利子付）があり、どちらも返還の必要があります。志望校の学費についてしっかり調べ、ご家庭でよく話し合ってください。

	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（利子付）		
学力基準	<p>高校の1年から申込時までの成績の評定平均値が3.5以上であること。</p> <p>上記の基準を満たさない場合でも、次のア～ウのいずれかに該当し、将来社会で自立し、活躍する目標をもって進学しようとする大学等における学修意欲がある者として学校から推薦されれば、第一種奨学金の学力基準を満たす者として取り扱う。</p> <p>ア. 生計維持者（原則父母）の貸与額算定基準額が0円である。</p> <p>イ. 生計維持者（原則父母）が生活保護を受給している。</p> <p>ウ. 「社会的養護を必要とする人」（児童養護施設等入所者、里親による養育を受けている者等）である。</p>	<p>大学・短期大学・専修学校（専門課程）への進学を希望し、以下のいずれかに該当する方。</p> <p>(1) 令和6年3月末に高等学校または専修学校（高等課程）を卒業する予定の人</p> <p>(2) 高等学校または専修学校（高等課程）を卒業後2年以内の人</p> <p>(3) 高等学校卒業程度認定試験に合格した人、科目合格者で機構の定める基準に該当する人、または出願者</p>		
家計基準 (世帯収入 の上限の 目安)	<p>【4人家族】 給与所得者 収入803万円 給与所得以外 所得552万円</p> <p>【5人家族】 給与所得者 収入905万円 給与所得以外 所得629万円</p>	<p>【4人家族】 給与所得者 収入1,250万円 給与所得以外 所得892万円</p> <p>【5人家族】 給与所得者 収入1,334万円 給与所得以外 所得958万円</p>		
貸与月額	<p>【国公立大学・短大・専修学校】</p> <p>自宅通学 45,000円 自宅外通学 51,000円</p> <p>【私立大学】</p> <p>自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円</p> <p>【私立短大・専修学校】</p> <p>自宅通学 53,000円 自宅外通学 60,000円</p> <p>上記は最大の金額であり、20,000円から10,000円刻みで選択可能。</p>	<p>大学や通学の形態を問わず、20,000円から120,000円まで10,000円刻みで選択可能。</p>		
4年間 借りた 場合の 返還例	貸与額	<p>【第一種奨学金】 月64,000円なら →貸与総額3,072,000円</p>	<p>【第二種奨学金】 月50,000円なら →貸与総額2,400,000円</p>	<p>【第二種奨学金】 月80,000円なら →貸与総額3,840,000円</p>
	返還額	<p>月14,222円×18年(216回) =返還総額3,072,000円</p>	<p>月16,769円×15年(180回) =返還総額3,018,568円</p>	<p>月21,531円×20年(240回) =返還総額5,167,586円</p>

※第二種の返還例は利率が上限の年3%の場合。実際の利率は貸与終了時に決まる。

※在学採用の場合、家計基準・貸与月額・返還期間が異なる。

※短大・専門学校の第二種の貸与期間・総額は修業年数に準じ、それに応じた返還月額になる。

## 給付奨学金

2020年4月から、真に支援が必要な低所得者世帯の者に対して、大学等の授業料等減免制度の創設と併せて給付奨学金が拡充されました。この奨学金は、返還の必要のない奨学金です。

### (1) 対象となる学校種

大学・短大・高等専門学校・専修学校（専門課程）で、国などから対象となることの確認を受けた学校です。

### (2) 家計基準（収入・所得の上限の目安）

世帯人数	想定する世帯構成	(★)が給与所得者の世帯 (世帯の年間の収入金額)			(★)が給与所得者以外の世帯 (世帯の年間の所得金額)		
		第一種	第二種	併用貸与(※2)	第一種	第二種	併用貸与(※2)
2人	本人・親A(★)	761	1,166	706	546	893	500
3人	本人・親A(★)・親B (無収入)	716	1,113	661	536	879	489
4人	本人・親A(★)・親B (★※1)・中学生	803	1,250	743	552	893	506

(単位：万円)

※1 親Bは、例として、給与所得の場合(左表)は収入300万円、給与所得以外の場合(右表)は所得200万円としています。

※2 併用貸与の基準を満たしている場合、第一種奨学金の最高月額を選択できます。

※3 表中の数字はあくまで目安です。収入基準は収入・所得に基づく課税標準額等により設定されているため、世帯構成、障がい者の有無、各種保険料の支払い状況等により、目安の金額を上回っていても対象となる場合や、下回っていても対象とならない場合があります。

※4 「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するかおおよその確認ができますので、ご利用ください。

### (3) 学力基準

高等学校等における申込時までの全履修科目の評定平均値が、5段階評価で3.5以上であること。

ただし、上記の基準を満たさない場合であっても、次のア～ウのいずれかに該当し、かつ、将来社会で自立し、及び活躍する目標をもって進学しようとする大学等における学修意欲がある者として学校から推薦されれば、第一種奨学金の学力基準を満たす者として取り扱うことができます。

ア. 生計維持者(原則父母)の貸与額算定基準額が0円である。

イ. 生計維持者(原則父母)が生活保護を受給している。

ウ. 「社会的養護を必要とする人」(児童養護施設等入所者、里親による養育を受けている者等)である。

### (4) 支給月額

(住民税非課税世帯〈第I区分〉の場合)

私立		国公立	
自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
38,300円(42,500円)	75,800円	29,200円(33,300円)	66,700円

※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、( )内の金額

## 国の教育ローン（教育一般貸付）について

「国の教育ローン」の申込みは、1年中いつでも受付をしています。入学時の費用は、志望校が決まったときに（合格発表前に申込できます）、在学中の費用は、資金が必要になったときに、申し込むことができます（必要時期の2～3ヵ月前が申込みの目安となります）。入学資金については、入学する月の翌月末まで借入れが可能です。

詳しくは、下のホームページをご覧ください。

主な借入条件	子どもの人数に応じた所得制限がある。例えば、子ども2人の場合、給与所得者は年収890万円以内、事業所得者は所得690万円以内の人。勤続年数3年未満などの特例要件に該当すれば、世帯年収が給与所得者は年収990万円以内、事業所得者は所得790万円以内まで緩和される。
融資額	学生、生徒1人につき上限350万円まで。
使いみち	学校納付金、受験費用、敷金家賃などの住居費用、教科書代や通学費用など、幅広い用途に対応。
金利（年）	固定2.25%（令和5年10月時点）
返済期間	最長18年
ホームページ	<a href="https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html">https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html</a>
問い合わせ	日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター TEL 0570-008656